

- 柳 幸典「ワンダリング・ポジション」が終了。
- 2017年度スタジオアーティスト募集!
- Under 35 / Cafe LIVE 2017公募!
- 2017年2月~3月 展覧会・イベント
- BankART AIRだより台北・ベルリン・韓国

# BankART NEWS Vol.9

発行: BankART1929  
2017年2月6日発行



## 1月7日に終了した柳幸典展 BankARTブログ+twitterより



**2016年10月14日(BankARTブログより)**  
「柳 幸典〜ワンダリング・ポジション」がはじまった。オープニングレセプションには、懐かしい顔が多数集まった。今回の展示は、約30年に及ぶ作家活動の集大成(アーカイブ)であると同時に、柳氏が、今後向かっていく世界を示す展示になっている。まずはじめに1階には、土の玉が浮遊する作品(再制作)。憲法九条をテーマにしたLEDでの新作。初期の名作、ワンダリング・ポジションの大型ドローイング群などが目に入る。2階に上がると、初期のインスタレーションのドローイングや映像、写真等、戦争や天皇制をテーマにした作品群。アントファームのシリーズは大型作品を中心にコンセプトの強い作品。アルカトラズ(独房)のプロジェクトなどが並ぶ。3階では、「島」についての構想を展示。犬島作品(瀬戸内国際芸術祭)のモデルを身体的なレベルまでスケールをあげたコンセプトワーク。そして、初公開となるアトミックボム(鉄製/原寸大)。最後に、ゴジラをテーマに幾度もプラン変更しながら、展覧会直前になって決定した渾身の一作(一作)。BankART Studio NYK全館に、時代をこえてワンダリングする柳氏の作品群が織りなす豊かで楽しい空間が生成している。

**2016年11月29日(BankARTブログより)**  
現在開催中の「柳幸典」展の観覧者数がのびない。展覧会の評判は、見ていただいた人の感想、twitterなどから察するに頗るいい。またプレスも、神奈川新聞はもちろんのこと、ほとんどの全国新聞に展評が掲載され(される)、また雑誌にも数多く取り上げられている。なのに、一日の観客数が目標の半分にまだみえない。入場料が少し高いという意見があるのは知っている。また、子どもたちには、ちょっと敷居が高いかもしれないとも思っている。気づいていないこちらの不備もあるかと思う。でも、とも思う。もし、この展覧会で人が興味をもってくれなかったら、これから、一体何を提示すればいいんだろうと。手前味噌になるが、柳さんもBankARTも、様々な意味で、渾身の力を振り絞って開催した展覧会だ。会期も一ヶ月をきった。これから、お客が入ってくれるためにできることはなんでもしようと思う。是非、見てほしい。そして応援をお願いしたい。

**2016年12月30日(BankARTブログより)**  
世の中はお休みにはいったが、延長線の柳幸典展は元旦を除いて1月7日まで続く。人も少しずつ増えてきて、なんとか最低目標の1万人に到達しそうだ。プレス(レヴュ)は、全国6紙に加えて、共同通信の配信を通して地方紙15紙、単独地方紙では中国新聞、神奈川新聞が大きく取り上げてくれた。また赤旗も。各紙が行う総括の年間のベスト展にも毎日新聞、読売新聞等がセレクトしてくれた。雑誌は、美術手帖、月刊ギャラリー、海外ではアートインアメリカ等、web上でも、資生堂、アートスケープ、創造都市横浜、木曜新美術館、all about 横浜 などが、大きな頁を割いて紹介してくれている。SNSは、ときおり厳しい意見もあるが、「良かった」「感動した」という言葉が圧倒的に多い。こういった総体によってこの

展覧会は支えられている。お金のないなか、身の丈に合わない、こうした展覧会が実現でき、ひとつの結果ができたことを素直に喜んでいる。また応援してくださっている皆さんに本当に感謝している。これで次にまたむかっていける。

### twitterより

公立の美術館では見ることが難しいだろう作品も並ぶ。柳幸典氏の関東圏での大規模な個展はBankART以外では開催すら難しいのではないかと。その意味でもい関東圏で何を置いても見るべき展覧会のひとつではないかと思った(ODAWARA 161025)

BANKARTの大空間を思い切り使いきった力作の内容。これだけまとめて柳さんの作品群を見たのは初めて。三分一さんが入って、犬島の美術館ができる前の、1995年頃から柳さんが考えていた構想の全容もよくわかる。そしてイカロスの先にゴジラの目!(taro 161028)

いつ頃からかBankARTの企画展示では、言葉で言うには難しい圧倒される存在感がそこであって、おおよそ他のアトスペースでは感じたことのない空間ができるのよなー(によい 161030)

一貫して、憲法、原発、原発、国境といった問題を扱っていることが分かります。というより、今問題になっていることを予言していたような。(大西 161101)  
柳幸典氏みたいな美術家の展覧会は、アートファンだけでなく、ほんとに色んな人に見てもらいたいと思う。アートは、日本語で美術というのだから、やはり美しいと!みたいな方にこそ見て欲しい。表面だけなことではなくもっと深く、世界を変えることができるかもしれない。その可能性があるってことを(Hasu no hana 161123)

息子がちょっとがっかりしたのは「蟻がいない」。そう、ワタシ「蟻がいるよ」と誘ったのです。でも鏡のところで回復。また行きたいというので「会期が過ぎたら撤去だよ」というと「なんでええ」と涙目になってた。(あざらし 161129)

どう評価するにせよ、「視覚体験としての強烈さ」が揺るぎない事は間違いないのでは。キャプションを含め、説明がほとんど無いのも深い。(×××× 161221)  
こんなに凄い展覧会、見逃さなくてよかった。強烈なパンチを浴びた感じで今年最後に相応しい。(Chiyo 161229)

普遍的で大切なテーマをシンプルで皆に伝わる表現を使う事の大切さ。「ダメなものダメ」と言いにくい「現在」だけ、柳の表現が再び必要な時代が悲しいかな来てしまっている事。次世代に伝えるべき展示です。(カオル 170105)

柳幸典が優れているところ。見ている人の信条によっては右にも左にも傾き得る、何かを言っているようで何も言っていないところが、非常に優れているなあと、平たい感想ですが。(北山 170106)

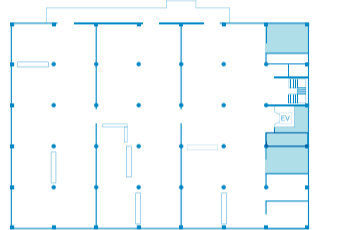
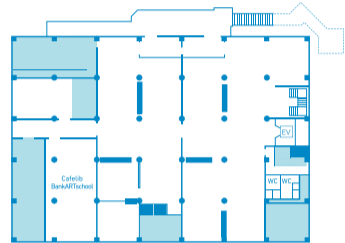


## 2017年度スタジオアーティスト募集!

**実施期間:** 2017年4月10日[月]~6月20日[火] **応募切:** 3月20日[月]必着  
今年の春もBankART Studio NYKで制作・活動するクリエイターを募集します。個人でもチームでも組織(大学・行政機関等)でも参加可能。パーティや週末毎のアーティストトーク、最終週のオープンスタジオ等、街に対しての開口部も設けます。是非みなさんのご参加をお待ちしております。

詳細は別刷りチラシ・HPにて

**募集チーム数** | 全体で40チーム程度  
**使用目的** | 原則として制作スタジオ、15平米以上  
**費用負担** | 1,200円×平米数×2ヶ月  
(例:18平米借りた場合 1,200×18×2=43,200円)  
内容により半額減免を8チーム程度、全額減免を数組  
**応募条件** | ジャンル・年齢・国籍不問、オープンスタジオ(6.9~6.18)に参加すること、実施期間の60%以上(日数)スタジオを使用すること  
**選考方法** | 書類及び面接にて決定(面接期間3.21~3.26)



**【応募方法】** 下記資料4点を、「2017年度スタジオアーティスト公募係」宛にお送り下さい。(お送り頂いた資料は返却いたしませんのであらかじめご了承ください)  
①氏名・住所・連絡先・メールアドレス・面接希望日時・希望する平米数・使用人数(A4用紙1枚) ②活動履歴(A4用紙1枚) ③過去の作品資料(A4サイズ8枚または画像等のCDかDVD1枚) ④スタジオインするにあたって活動プラン(400字程度)

**書類送付先** | 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 BankART Studio NYK  
「2017年度スタジオアーティスト公募係」

## Under 35 / Cafe LIVE 2017 アーティスト・パフォーマー募集!

**実施期間:** 2017年8月4日[金]~11月5日[日]の間 **応募切:** 3月20日[月]必着  
Under 35はBankART Mini Galleryで個展を開催する35歳以下のアーティスト。Cafe LIVEではBankART Studio NYKで公演を行うパフォーマンスアーティストを募集します。今回は「横浜トリエンナーレ2017」と同時期に開催する「BankART Life V」の中での開催になります。是非ご参加ください。

詳細は別刷りチラシ・HPにて



山下拓也展 / 2014



tarinainanika / 2012

### BankART Bank Under 35/ 2017

**内容** | BankART Mini Gallery(約140平米)での個展 **人数** | 若干名 **資格** | 展覧会時点で35歳以下の方(ジャンルは美術・建築・デザインなど) **条件** | 広報、カタログ作成(16頁)は、BankART1929がおこないます。カタログ1000部謹呈します。諸経費・作家フィーあわせて35万円。制作スタジオ30~40㎡を1~2ヶ月無償で提供。 **応募方法** | ①ポートフォリオ(A4 20頁以内)映像資料を提出されたい場合はDVDを1枚付加することができます。②経歴と連絡先(住所・氏名・年齢・メールアドレス・電話番号をA4一枚にまとめる)。③展示プラン(A4一枚)

### Cafe LIVE 2017

**内容** | BankART Studio NYKでの公演 **採択件数** | 数チーム **資格** | 出演者+マネージメントのジョイントチーム **条件** | 公演会場(kawamata Hall他)、制作スタジオの提供:30~40㎡を1~2週間。音響・照明機材の基本的なセット。DVD制作(プレス費・デザイン)500部。チラシ+チケット制作、及び一般広報、パーティ費用、チケット売り上の90%  
**応募方法** | ①映像資料(DVDに3分程度にまとめたもの+全録したもの)②経歴と連絡先(住所・氏名・年齢・メールアドレス・電話番号)(A4一枚にまとめる) ③公演プランの説明文(A4一枚)  
**審査員** | 中村恵恵(振付家・舞踊家)、矢内原美邦(振付家・演出家)、溝端俊夫(NPO法人ダンスアーカイブ構想・BankART1929)

**選考方法** | 書類及び面接にて決定。結果は個別にご連絡させていただきます。(尚、お送りいただいた資料は返却いたしませんので、ご了承ください。)

**書類送付先** | 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 BankART Studio NYK  
BankART1929 オフィス「2017年度U35公募係」「2017年度Cafe LIVE公募係」  
(封書に「BankART Bank Under 35」あるいは「Cafe LIVE」と朱書のこと)



## BankART Studio NYK 2017年2月～3月の主な展覧会・イベント

## TPAM - 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2017

2月11日[土]～19日[日] 全館 要予約、登録制

他の会場: KAAT 神奈川芸術劇場、横浜赤レンガ倉庫1号館、YCCヨコハマ創造都市センター、他

TPAMは、1995年に「芸術見本市」としてスタートし、今回で21回目を迎える。2011年からは、横浜市が推進する「創造界隈」の拠点施設や県の施設を中心に、多様な演目の公演や舞台芸術に関する国際会議を開催。舞台芸術を創造するプロフェッショナルが世界中から集まり交流を行ってきている。特に一昨年からアジアの同時代の舞台芸術にフォーカスし、様々な試みを行っている。

問合せ: 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局  
Tel 03-5724-4660、Fax 03-5724-4661



## PHOTO HARBOUR (御苗場/PHOTO! FUN! ZINE!)

2月23日[木]～26日[日] 全館

10:00～18:00(最終日は17:00まで) 入場料:1,500円 NYK会場含む [CP+2017]のメイン会場はパシフィコ横浜

日本最大級の写真映像機器と写真のイベントCP+(シービープラス)。メイン会場パシフィコ横浜の別会場としてNYK全館を使用した一般参加型企画PHOTO HARBOURが開催される。写真のショーケースの『御苗場 Vol.20 横浜』と手作り写真本を展示販売する『PHOTO! FUN! ZINE! Vol.5』等が展開される。

問合せ: CP+事務局 03-6741-4015

多摩美術大学 生産デザイン学科  
プロダクトデザイン専攻 卒業制作展2017

3月3日[金]～5日[日] 全館

11:00～19:00(最終日は17:00まで)

人々の生活を支えるあらゆるモノを、機能や形はもちろんのこと、問題解決や企画提案など、様々な面からデザインするプロダクトデザインコース(学部・院生)の修了展。初日19時からはレセプションパーティー開催される。

問合せ: 多摩美術大学プロダクトデザイン研究室  
042-679-5624(月～土 9:00～17:00)

多摩美術大学統合デザイン学科第1期生 成果展  
「INTEGRATING」

3月11日[土]～13日[月] 全館

11:00～19:00(最終日は16:00まで)

2014年に新設された統合デザイン学科1期生(3年次)による学外展。特定の領域に縛られない新たなデザイン教育、実践的なプロジェクトと演習によって培われた学生の課題作品が展示される。

問合せ: 多摩美術大学統合デザイン学科研究室  
03-3702-1148 integrating2017@gmail.com



## その他の公演・イベントなど

## モモンガ・コンプレックス vol.12「遠くから見ているのに見えない。」

3月18日[土] 15:00/19:00 19日[日] 15:00 3F/3Cギャラリー

一般前売・当日3,500円/25歳以下2,500円/高校生以下1,000円  
白神ももを中心としたダンス・パフォーマンスのグループ。本作は、時間三部作「過去」「未来」「現在」の最終章にあたる、「現在」をテーマにした新作。作品を通して、「現在」を切り抜けるバランスと、本当に大事なことを選択することを考える。

問合せ: モモンガ・コンプレックス  
hello@momongacomplex.info 070-6562-7469(10:00～20:00)

## LIVE「FIDDER ON THE CROSSROADS」

3月18日[土] 18:00 1F/kawamata Hall チケット:3,000円

作曲家・ヴォーカリストの坂上知之率いる、R&B、70's シンガーソングライターたちのアメリカ音楽を基盤としたサウンドを目指すThe Crossroads。ゲストに大道香子(ピアノ)、武藤裕生(バイオリン)。

問合せ: Animart MusicArts 090-7431-0552 the.crossroads.in4@gmail.com

## 「宮原昭夫評論集―自意戯劇の変貌―」出版記念対談

3月19日[日] 14:00～15:00 1F/kawamata Hall 会費:3,000円

芥川賞作家宮原昭夫と2016年度の芥川賞受賞作家村田紗耶香による出版記念対談。対談後は、サイン会と懇親会を行う。(要予約)

問合せ: 川口ひろ子 080-5170-0256 banlee.09@gmail.com

横浜国立大学 大学院都市イノベーション学府展  
「横浜大改造計画」

3月17日[金]～19日[日] 3F/3A・3Bギャラリー

11:00～19:00(最終日は18:30まで)

日本初のスタジオ教育システムによる建築家育成に取り組む大学院コースY-GSAや研究と制作を横断する芸術文化領域の大学院コースY-GSCを含んだ、「都市」をテーマとする文理融合の展示。5回目となる今回は、都市基盤学、建築学等の土論文の他に、Y-GSA、Y-GSC、学生有志特別展など盛りだくさん。ユニークな大学院の魅力を満載にしたWSやシンポジウム、熱血講義、演劇公演など、新しい都市の時代を考える三日間。

問合せ: IUI展企画委員会/都市イノベーション学府・研究院  
iui-exhibition@gmail.com 045-339-3826

2016年度 女子美術大学 芸術学部 芸術表象専攻  
卒業研究展「疑い・調査・実践」

3月27日[月]～30日[木]

11:00～19:00(最終日は17:00まで)

3F/3Cギャラリー

継続的に扱ってきているテーマ、「疑い」と「調査」と「実践」。自らの眼で疑い、自らの脚で調査し、自らの身体と精神で実践する。7年続いたコースの最後の卒業作品展示。

問合せ: 女子美術大学芸術学部芸術表象専攻研究室 042-778-6664



## 一生涯100年展―千田高詩の世界

3月27日[月]～4月2日[日]

11:00～19:00 2F/2A・2Bギャラリー 観覧料:300円

1988年に73歳でこの世を去った千田高詩は、卓越した現代美術の画家であると同時に、それを平易な言葉で語りながら時代を巻き込む創造のひろばをつくり、長く実践続けた美術教育家でもあった。本展では、氏の生誕100年を記念し、作品・詩文と共に創造教育の現場も含む、氏の世界を総合的に展示する。

問合せ: 「千田高詩の世界」実行委員会 広報担当: 楠木(あべき)  
080-5066-7541 http://takahisenda.petit.cc/連絡先宛へ

藍染めバティックをつくろう ―インドネシアの伝統的な  
染色の技法をつかった、子ども向けワークショップ―

A日程:3月18日[土]、25日[土] B日程:3月19日[日]、26日[日]

各日13:30～16:30 1F/Miniギャラリー 応募〆切:3月6日[月]

参加資格:横浜市内の小学3年生～高校1年、親子連れでもOK 定員各20名

この春、インドネシアの伝統染色を体験してみませんか? デザインを考えるところから、実際に染めることまで、2日間のワークショップで、全て体験できます。インドネシアから、バティックの先生、アリスさんが横浜に来日し、本場の道具や素材をつかって丁寧に教えてくれます! 通訳や進行は、インドネシアで製作の現場に携わる日本人クリエイターの、ことはあいが行います。初心者・親子連れでのご参加も大歓迎! ぜひお気軽に参加ください。

応募方法:①お名前 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス⑤ご希望の日程(A日程もしくはB日程)を、メールまたは電話にてお知らせください。

申込み・問合せ: BankART1929 045-663-2812 info@bankart1929.com

主催:横浜市 企画: BankART1929 + ことは あいが

第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催連携事業



## DA・M2017「煙がモククの目にしみる」

3月23日[木]～25日[土] 19:30 3月26日[日] 16:30

3F/3Bギャラリー

チケット:当日4,000円 前売3,500円 学生・外国籍2,000円

1986年に設立され、オルタナティブな舞台創作活動をジャンル・国籍を超えたアーティストたちとともに精力的に展開するダム。1997年よりアジア・ミーツ・アジアと題してアジア地域との交流活動を展開中。本作品は昨年BankARTで公演した日韓共同創作「すべては突然やってくる」の後編。“出来事”のあと、身体、声、言葉、音が不協和を奏でながら「現在」を煙らしていく。”

問合せ: 劇団DA・M 070-1232-1986 dam@mbh.nifty.com

## TORANOKO Performing Arts Company

「マイブリッジの糸とモーションのリズム」

3月25日[土] 14:30/18:00 26日[日] 14:00

1F/kawamata Hall チケット:3,000円

山村浩二監督のアニメーション作品「マイブリッジの糸」の上映とTORANOKO Performing Arts Companyによるパフォーマンス。

問合せ: TORANOKO Performing Arts Company  
090-8287-4210 toranoko\_pac\_2002@icloud.com

## BankART AIR だより



## 台北・横浜アーティスト交流プログラム2016年度

## 横浜→台北

本年度のTAV(台北国際芸術村)との交換AIRプログラムは、選考の結果、片岡純也+岩竹理恵の2人に決定。1月5日から3月31日までTAVに3ヶ月間滞在しています。昨年7月から11月まで自主的にTAVなどにレジデンスしていたこともあり、さらにこの3ヶ月でより深いキャリアを積むことでしょう。1月下旬からは、平昌ビエンナーレに出品準備のため韓国入りしています。また今年のヨコトリ期間中に行うBankARTの企画展、若手作家の個展シリーズ「U35」にも選定されています。住処をもたず、とまらないスピードで駆け巡る彼らを引き続き応援していきたいと思っています。



## 台北→横浜

台北からはペインターの周代煥(チョウ・タイシュン)氏が来日しています。2017年1月9日～4月7日の3ヶ月間、横浜で滞在制作を行っています。また3月24日～4月2日には成果発表のオープンスタジオも予定しています。



## BankARTベルリン

BankARTベルリンでは、その運営主体として現地法人を立ち上げる準備を進めています。日本国外で日本のNPOである我々が拠点を持つというのは、家賃や電気代の支払いから保険の契約から、様々なことがちょっと面倒なところもあるのですが、たくさんの協力者に恵まれて、少しずつ形を整えつつあります。今年はさらにより多くのアーティストやアート関係者と、ここを拠点に様々な活動をしていきたいと考えています。特に今年のドイツは、5年に一度開催されるカッセルのドクメンタに加え、10年に一度開催されるミュンスターの彫刻プロジェクトの開催と、国際展の当たり年です。(そしてもちろん横浜では横浜トリエンナーレの開催年でもあります) まだまだ活発に活動するという段階ではありませんが、少しずつ新しい展開に入っていきたいと思っています。

## 韓国

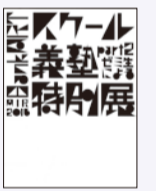
続・朝鮮通信使の活動を通して、これまで様々な機関との交流を続けてきましたが、現在は、AIRの交換プログラムを組織間協定を結んで継続的に展開していけるように準備をしています。具体的には、韓国の4つの都市の5つの機関、ソウル文化財団、ソウル市立美術館、仁川アートプラットフォーム、釜山文化財団、光州市立美術館との「協定」が、近々結ばれる予定です。レジデンスで応募された方、もうしばらく、お待ちください。

## BankART義塾ゼミ生による特別展

カタログが完成しました。

BankARTスクールの講座「BankART義塾Part2」の受講生たちによって、最後の実践課題として開催された展覧会の記録集。

価格:¥500+税 発行日:2016年11月30日  
発行:「BankART義塾ゼミ生による特別展」実行委員会



## サンキューアートの日

開発好明さんが推進する「39アートの日」。これにあわせて、BankART Studio NYKでは、バンクアートの誕生日の3月6日から3月9日の期間、カフェ、ショップ全ての取扱商品2割引とします。またとないチャンスです。是非ご来館ください!

## 編集後記

□ 開館時間の変更(少しだけ)のお知らせ

これまで13年間、毎日23時までオープンしていたバブ/ショップゾーンですが、2月より毎週日曜日のみ、営業時間を20時までに変更いたします。ご理解の程、よろしくお祈りします。

□ 2017年度のプログラム

ヨコトリ2017の時期は、例年通り、黄金町バザールとともにヨコトリとの共通チケットが発券されます。ヨコトリも作家選考等遅れているようですが、BankARTのプログラムももう少し時間がかかりそうです。冬至も過ぎ、立春も越え、少しずつだけ日が長くなってきています。まだまだ寒い日が続きますが、暖くなるまで元気だしていきたいと思います。

BankART 1929 office (BankART Studio NYK)

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

info@bankart1929.com www.bankart1929.com